

GIGABYTE™

S11

USER'S MANUAL

使 用 手 冊

• 日 本 語
V1.1



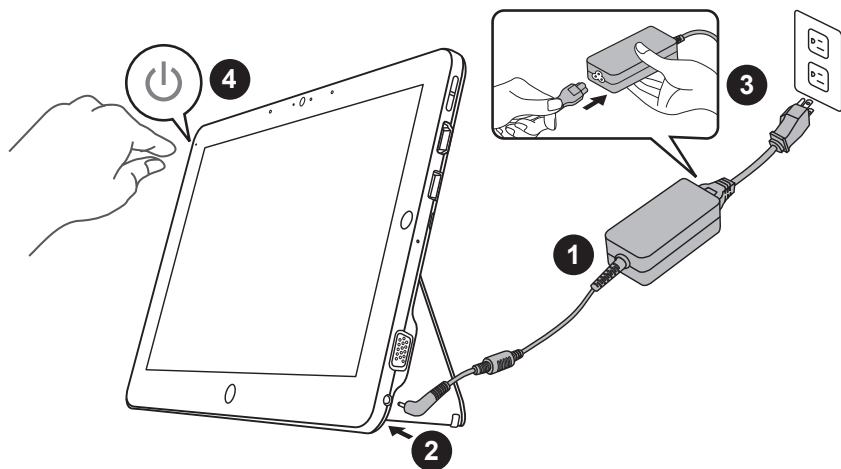
GIGABYTEタブレットPCをご購入いただき、ありがとうございます。

最終的な製品構成は、ご購入時点のものであり、モデルにより異なります。

GIGABYTEは事前の予告なく製品構成を変更する権利を有します。

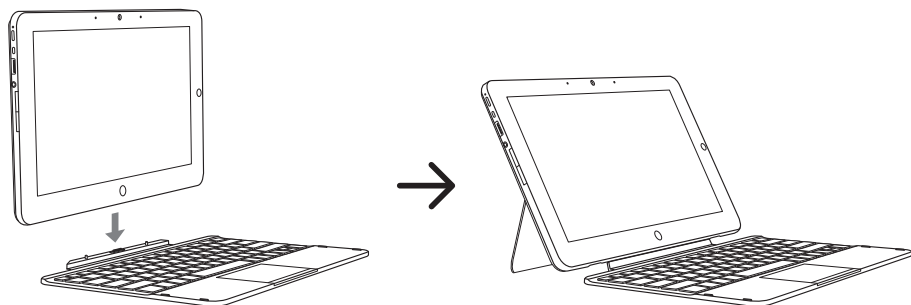
詳しい情報は、www.gigabyte.comにてご確認ください。

GIGABYTE タブレット PC、初めてのご使用に際して



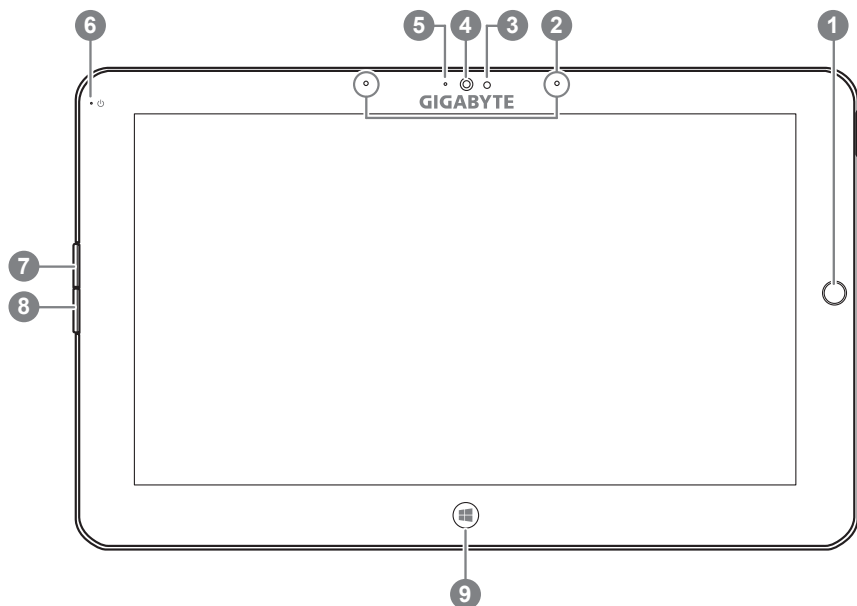
- 1 AC アダプターに電源コードをつなげてください。
- 2 AC アダプターをタブレット PC の DC-in ジャックに挿入してください。
- 3 電源コードをコンセントにつないでください。
- 4 バッテリーライトが点灯したら、タブレット PC の電源を ON にしてください。

キーボード キットの使い方



GIGABYTE タブレット PC 各部説明

正面図



2

1 ディレクティングキー ①

2 マイク

3 ウェブカメラ

4 光センサー

5 ウェブカメラインジケータ

6 パワーステータスインジケータ

7 左マウスボタン

8 右マウスボタン

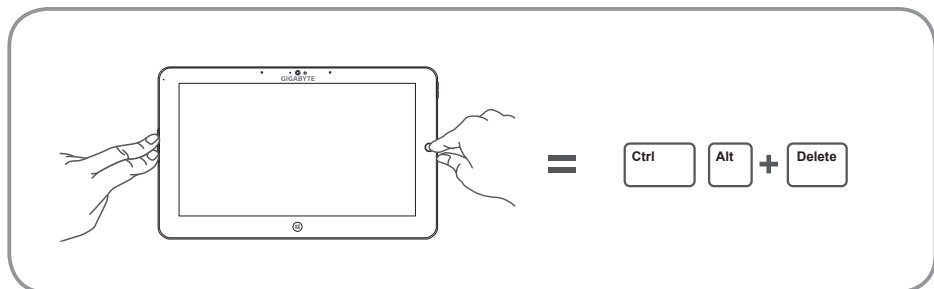
9 Windows ボタン ②

① カーソル操作ができ、ディレクティングキー押すと、マウス左ボタン同様の操作も可能です。

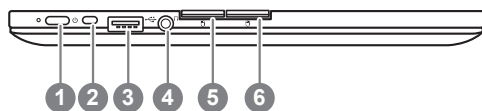
②

- Windows 8 スタイル UI に。
- リープモードや 休眠モードから復帰します。

ポイント: 左マウスボタン+右マウスボタン+ディレクティングキーで “Ctrl+Alt+Del” 同様の操作ができます。

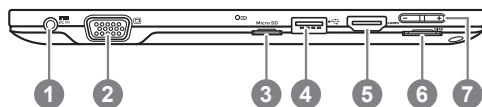


左側面図



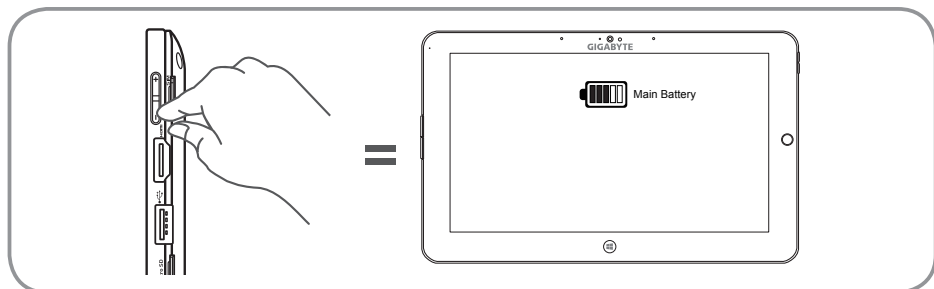
- | | |
|------------------------|-------------|
| 1 電源ボタン | 4 ヘッドホンジャック |
| 2 ディスプレイ自動回転口
ックボタン | 5 左マウスボタン |
| 3 USB ポート | 6 右マウスボタン |

右側面図

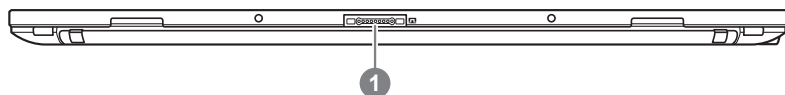


- | | |
|--------------------|---|
| 1 DC-in ジャック | ⑤ “+”及び“-”で音量調整ができます。 |
| 2 D-sub(VGA) ポート | ● 電源ボタンを押し離すと、オペレーションシステムが立ち上がります。“+”を押し GIGABYTE BIOS セットアップ・ユーティリティに進んでください。GIGABYTE BIOS セットアップユーティリティで BIOS の機能設定をする際には、USB キーボードを使用するとより快適に作業いただけます。 |
| 3 Micro SD カードリーダー | ● 電源ボタンを押し離すと、オペレーションシステムが立ち上がります。“-”を押し GIGABYTE システムリカバリーに進んでください。GIGABYTE スマートリカバリーの操作には、ディレクティングキーをご利用ください。 |
| 4 USB ポート | |
| 5 HDMI ポート | |
| 6 SIM カードスロット | |
| 7 音量調整キー ⑤ | |

ポイント：電源 OFF 状態で“-”ボタンを押すと、ディスプレイ上にバッテリー残量が表示されます。

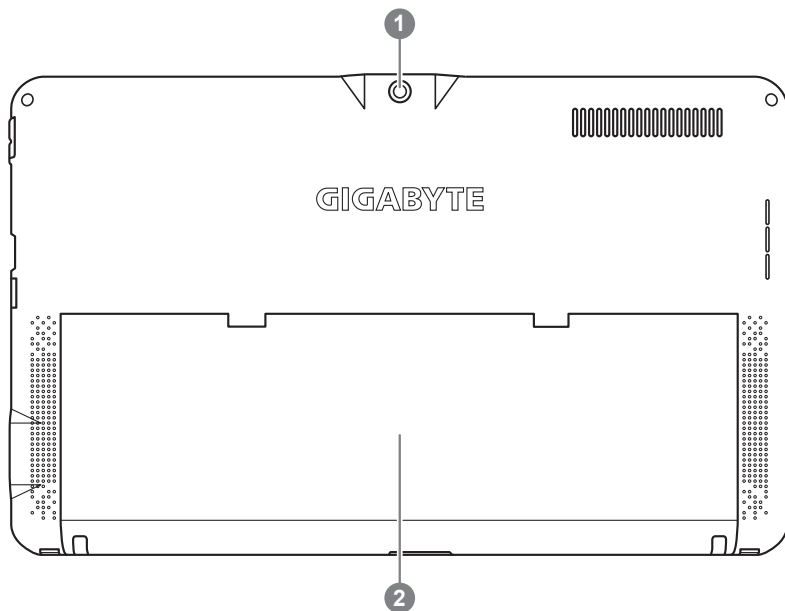


下部側面図



- 1 キーボードドッキング接続ポート

底面図



- 1 後部カメラ
- 2 スタンド ④

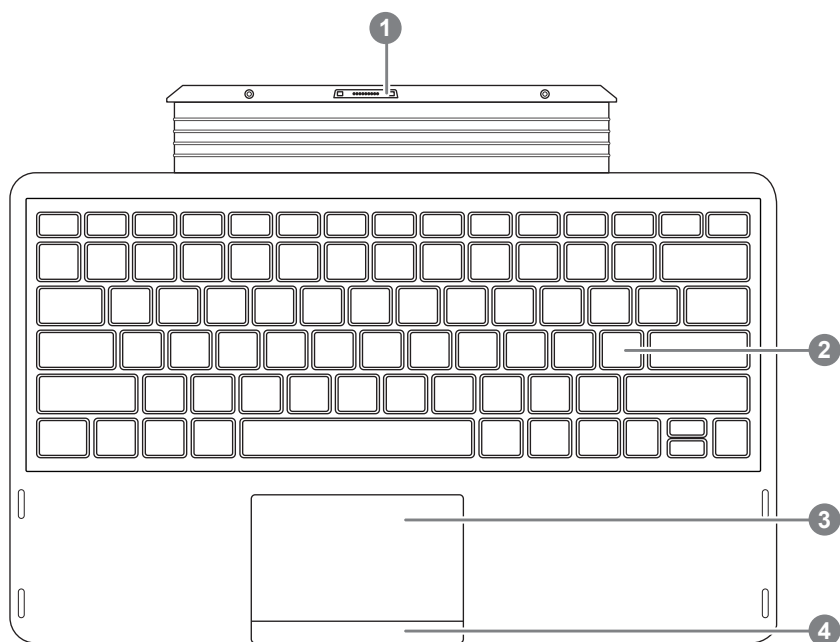
④ 映画等鑑賞の際、スタンドをご利用ください。



ご注意：

本機に装備しているリチウムバッテリーは内蔵式、固定されました上で、取り外してはいけません。取り外すあるいは交換の場合に、GIGABYTE に認可されたサービスセンターにご連絡ください

キーボード トップビュー



- 1 キーボードドッキング接続ポート
- 2 キーボード
- 3 タッチパッド
- 4 タッチパッド ボタン

ホットキー

コンピューターは画面の明るさや音量出力のようなコントロールにアクセスする際、ホットキーまたはキーの組み合わせを採用しています。ホットキーを有効にするには、ホットキーの組み合わせで他のキーを押す前に <Fn> キーを押したままにしてから組み合わせのキーを押してください。

ホットキー	機能	説明
Fn+F1 	スリープス	スリープモードに入ります。
Fn+F2 	WLAN	ワイヤレスLANのON/OFFを切り替えます。
Fn+F3 	画面暗くなる画	画面が暗くなります。
Fn+F4 	画面明るくなる画	画面が明るくなります。
Fn+F5 	画面切替	ディスプレイの出力先を変更します。外部モニター（接続されていれば）または両方。
Fn+F6 	スクリーン画面切替	スクリーンディスプレイをオンとオフに切替えます。
Fn+F7 	スピーカー切替	スピーカーのON/OFFを切り替えます。
Fn+F8 	ボリューム下	ボリュームを下げます。
Fn+F9 	ボリューム上	ボリュームを上げます。
Fn+F10 	タッチパッド	タッチパッドのON/OFFを切り替えます。
Fn+F11 	Bluetooth	ブルートゥースのON/OFFを切り替えます。
Fn+F12 	Webカメラ	ウェブカメラのON/OFFを切り替えます。

GIGABYTE のソフトウェアアプリケーション

■ GIGABYTE Smart Manager

OS 付のシステムをご購入いただいた場合は、デスクトップ上のアイコンをダブルクリックすることで GIGABYTE Smart Manager を起動することができます。

アイコン操作を基本としたインターフェースであり、GIGABYTE 独自のユティリティ同様に、共通システム設定の直感的操作が可能です。

GIGABYTE Smart Manager 操作画面、アイコン、ユティリティやソフトのバージョンは購入されたモデルによって異なる場合がありますので、ご注意ください。

購入時に搭載の初期バージョンで GIGABYTE Smart Manager を操作してください。

■ GIGABYTE ドライバアップデート機能

Windows® オペレーティングシステムを搭載しているタブレットを購入した場合、デスクトップでドライバー・アップデート・ユティリティのショートカットがあります。そのアイコンをダブルクリックすることで起動することができます。

GIGABYTE のドライバー・アップデートユティリティを使用すると、自動的にオンラインでハードウェア最新バージョンを検索することが可能で、ダウンロードできます。このソフトウェアで、ユーザー自身のマシンのドライバーとオンラインバージョンを自動で識別し、最新版をインストールするかどうかはユーザーより決定することができます。

■ GIGABYTE BIOS セットアップユティリティ

電源ボタンを押し離しすると、オペレーションシステムが立ち上がります。“+”を押し GIGABYTE BIOS セットアップ・ユティリティに進んでください。GIGABYTE BIOS セットアップユティリティで BIOS の機能設定をする際には、USB キーボードを使用するとより快適に作業いただけます。

Smart USB Backup の使用ガイド

(旧 : Recovery Image USB)

⚠ 注意

- この作業を行うことによって、パソコンが損傷を負ったことが原因で image データの紛失を防ぐために、この作業によって事前にバックアップをとっておきます。
- 新しいストレージデバイスを交換する場合は、USB フラッシュドライブに元のイメージのバックアップを復元するには、このソフトウェアを使用することができ、新しいストレージデバイスをインストールしてから、工場出荷時のデフォルトのシステム新しいストレージデバイスに戻っていただく。
- リカバリー USB を使用してシステムの復元を行う前に、データのバックアップがされていることを確認してください。
- リカバリー USB を使用して、システムの復元を行っている最中は、シャットダウンをしたり、電源コードを抜いたりしないでください。

1



- 20GB 以上の USB メモリを用意して、パソコンに挿入してください。(USB 内のデータは、リカバリー USB の作成によって全て削除されますので、先に USB 内のデータのバックアップをとってください。)

2



- オプティカルドライブにドライバーディスクを挿入し、「Smart USB Backup」をインストールします。(CD/DVD ドライブのない機種の場合は、外付けドライブを使用してください。ソフトウェアがない場合は、<http://www.gigabyte.com> からダウンロードしてください。)

3



- インストール完了後、デスクトップ上の「Smart USB Backup」を起動させてください。

4



- ドロップダウンリストの中から先ほど挿入した USB メモリを選択し、recovery USB の作成を開始してください。

5

- リカバリー USB の作成が終了すると、ポップアップ画面が現れます。
- システムの復元を行うには、コンピュータを起動した際 F12 キーを押してください。「USB メモリを使用して復元する」を選択すると、システムの復元が始まります。
- システムの復元には、約 30 分ほどの時間が必要です。(所要時間は USB メモリの種類によって異なります。)

リカバリーガイド

システムリカバリ（オペレーティングシステムの修復）

オペレーティングシステムに何らかの異常が発生した場合、システムの完全バックアップイメージが構成されているストレージ装置内リカバリ領域を使い、オペレーティングシステムを工場出荷時の初期状態に復元します。



注意

- ストレージ装置を交換、もしくはリカバリ領域を削除した場合、リカバリオプションを使用することはできなくなります。カスタマーサービスセンターでの修理が必要です。
- リカバリ機能はOSがプレインストールされた製品に限り有効です。DOS製品については、リカバリ機能はサポートされておりません。

システムリカバリの起動

リカバリ機能は、工場出荷時にプレインストールされています。オプションメニューよりWindowsリカバリツールを起動させ、オペレーティングシステムを再インストールし初期化してください。

以下、リカバリツール起動方法とシステム復元方法の説明です。



リカバリ実行前の注意

PCがコンセントに繋がっている事を確認してください。作業完了には数分要します。

Windows 8 リカバリガイド

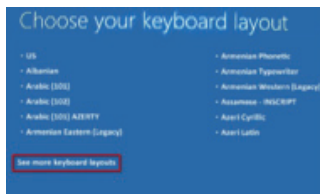
1 シャットダウン後、PCを再度起動させてください。

2



電源ボタンを押し離しすると、オペレーションシステムが立ち上がります。“-” を押しGIGABYTE システムリカバリーに進んでください。GIGABYTE スマートリカバリーの操作には、ディレクティングキーをご利用ください。

3



キーボードレイアウトを選択してください。

“See more keyboard layouts”をクリックすると、次のページに進めます。

4



“Troubleshoot”を選択し、リカバリ設定へと進みます。

（“Continue”を選択すると、Windows 8から直接リカバリ前の個人データやファイルのバックアップができます。）



2通りのシステムリカバリ方法。

- **Refresh your PC - PCの再セットアップ**
ソフトや設定不良による問題が発生した場合、再度セットアップし直すことで、データを失わずに修復することができます。
- **Reset your PC - PCの初期化**
ソフトや設定不良による問題が発生した場合、PCを初期化し工場出荷時状態に復元します。その際、全ての個人ファイルが削除されます。
注意：全ての個人データとファイルは消失します。



■ Refresh your PC - PCの再セットアップを選択した場合

【“Next”をクリックし次に進んでください。】>【リカバリ対象のオペレーティングシステムを選択します。】>【Windows 8をクリックしてください。】>【“Refresh”をクリックしてリカバリを実行してください。】。



注意事項

- ノートブック内個人設定は変更されません。
- ノートブックの設定は工場出荷時の初期状態になります
- Windowsストアからインストールしたアプリケーションはそのまま引き継がれます。
- ウェブサイトやDVD等からインストールしたアプリケーションは削除されます。
- 削除されたアプリケーションのリストはデスクトップに保存されます。



■ Reset your PC - PCの初期化

【“Next”をクリックし次に進んでください。】>【リカバリ対象のオペレーティングシステムを選択します。】>【Windows 8をクリックしてください。】>【リカバリ方法を選択します。】

▶ Just remove my files - 個人ファイルのみ削除

個人ファイルのみ削除し、PC設定はそのままにします。

▶ Fully clean the drive - 完全に工場出荷時の初期状態に復元します。

ドライブを工場出荷時の初期状態に復元します。その場合、作業完了には比較的長い時間を要します。>【“Reset”をクリックしてリカバリを実行をします。】。



注意事項

- 全ての個人ファイルとアプリケーションは削除されます。
- 全ての設定は工場出荷時の初期状態に復元されます。



■ Advanced options - その他のオプション

上記の他、更にいくつかのリカバリ設定があります。



System Restore - システムの復元

システム復元記録を選択すると、その記録時のシステム状態へ復元することができます。復元時から指定記録時までの間の個人データとファイルは消失します。



System Image Recovery - システムイメージリカバリ

以前バックアップしたシステムイメージデータを使い、Windowsを復元します。



Automatic Repair - 自動修復

自動修復及びWindowsシステム不良の解決をします。



Command Prompt - コマンドプロンプト

コマンドプロンプトを使い高度なトラブルを解消します。



UEFI Firmware Settings - UEFI BIOS設定

再起動し、UEFI BIOS設定を変更します。

Windows 8.1 リカバリガイド

1 シャットダウン後、PCを再度起動させてください。

2



電源ボタンを押し離しすると、オペレーションシステムが立ち上がります。“-” を押しGIGABYTE システムリカバリーに進んでください。GIGABYTE スマートリカバリーの操作には、ディレクティングキーをご利用ください。

3



“Troubleshoot”を選択し、リカバリ設定へと進みます。

（“Continue”を選択すると、Windows 8.1から直接リカバリ前の個人データやファイルのバックアップができます。）



2通りのシステムリカバリ方法。

- **Refresh your PC - PCの再セットアップ**
ソフトや設定不良による問題が発生した場合、再度セットアップし直すことで、データを失わずに修復することができます。
- **Reset your PC - PCの初期化**
ソフトや設定不良による問題が発生した場合、PCを初期化し工場出荷時状態に復元します。その際、全ての個人ファイルが削除されます。
注意：全ての個人データとファイルは消失します。

4



■ **Refresh your PC - PCの再セットアップを選択した場合**
継続するアカウントを選択してください。



注意事項

- ノートブック内個人設定は変更されません。
- ノートブックの設定は工場出荷時の初期状態になります
- Windowsストアからインストールしたアプリケーションはそのまま引き継がれます。
- ウェブサイトやDVD等からインストールしたアプリケーションは削除されます。
- 削除されたアプリケーションのリストはデスクトップに保存されます。



■ **Reset your PC - PCの初期化**

▶ **Just remove my files - 個人ファイルのみ削除**

個人ファイルのみ削除し、PC設定はそのままにします。

▶ **Fully clean the drive - 完全に工場出荷時の初期状態に復元します。**

ドライブを工場出荷時の初期状態に復元します。その場合、作業完了には比較的長い時間を要します。>【“Reset”をクリックしてリカバリを実行をします。】。



注意事項

- 全ての個人ファイルとアプリケーションは削除されます。
- 全ての設定は工場出荷時の初期状態に復元されます。



■ Advanced options - その他のオプション

上記の他、更にいくつかのリカバリ設定があります。



System Restore - システムの復元

システム復元記録を選択すると、その記録時のシステム状態へ復元することができます。復元時から指定記録時までの間の個人データとファイルは消失します。



System Image Recovery - システムイメージリカバリ

以前バックアップしたシステムイメージデータを使い、Windowsを復元します。



Automatic Repair - 自動修復

自動修復及びWindowsシステム不良の解決をします。



Command Prompt - コマンドプロンプト

コマンドプロンプトを使い高度なトラブルを解消します。



UEFI Firmware Settings - UEFI BIOS設定

再起動し、UEFI BIOS設定を変更します。



スタートアップの設定

Windowsの起動動作を変更。

付属品

■ 保証及びサービス：

保証及びサービス内容、関連情報については、保証書もしくは GIGABYTE ホームページをご確認ください。

<http://www.gigabyte.com/support-downloads/technical-support.aspx>

■ よくある質問：

よくある質問につきましては、以下 URL からご確認ください。

<http://www.gigabyte.com/support-downloads/faq.aspx>